

やまがた食産業クラスター協議会総会開催

やまがた食産業クラスター協議会（会員165名）の通常総会が、6月12日ホテルメトロポリタン山形において開催された。

同協議会は去年発足。従来の生産重視の県産農産物に加工や流通、販売などの異業種の視点を加え、新創業産業分野の確立と、新商品開発やビジネスチャンスの拡大を目指し、初年度は各種セミナーや業種間の情報交換会などを行ってきた。活動二年目の本年度の事業計画では、山形ならではの「食」と「農」の連携をテーマに、○異業種交流会の開催○商品開発意向調査の実施○試験研究機関などによる加工技術・加工用品種の情報提供○食品産業が求める農産物の供給促進○各総合支庁への食農連携コーディネーターの配置○県内はじめ仙台圏や首都圏の販路開拓 等に取り組んでいくことにした。

尚、役員改選では水戸部会長が退任し、後任に鈴木俊幸氏を選出した。

今年度から本会も協議会事務局に参画し、事業推進に携わっている。



平成19年度 新連携支援制度説明・相談会を開催

今年度の新連携支援制度説明・相談会を、7月4日山形市で、7月11日酒田市で、東北経済産業局及び（独）中小企業基盤整備機構と共に開催した。

会では、新連携制度及び地域資源活用企業化プログラムについて、国の担当官が説明した。引き続いて行われた「事例紹介及び計画認定のポイント」では、認定企業（コア企業）である鈴治（株）鈴木社長の他、連携体である穂積繊維工業（株）穂積社長と本会佐藤新連携アドバイザー、戦略会議事務局の斎藤プロジェクトマネージャーが、認定までのプロセスを具体的に紹介。参加者の高い関心を受けた。

今回は戦略会議事務局のプロジェクトマネージャーが3名参加という絶好の機会もあり、希望者に対する個別相談も並行して実施。実り多い会となった。

（新連携支援制度の内容については、P4～7をご参照下さい。）

